

ここは  
どこなのでしょう？

だんえら  
おあおあ

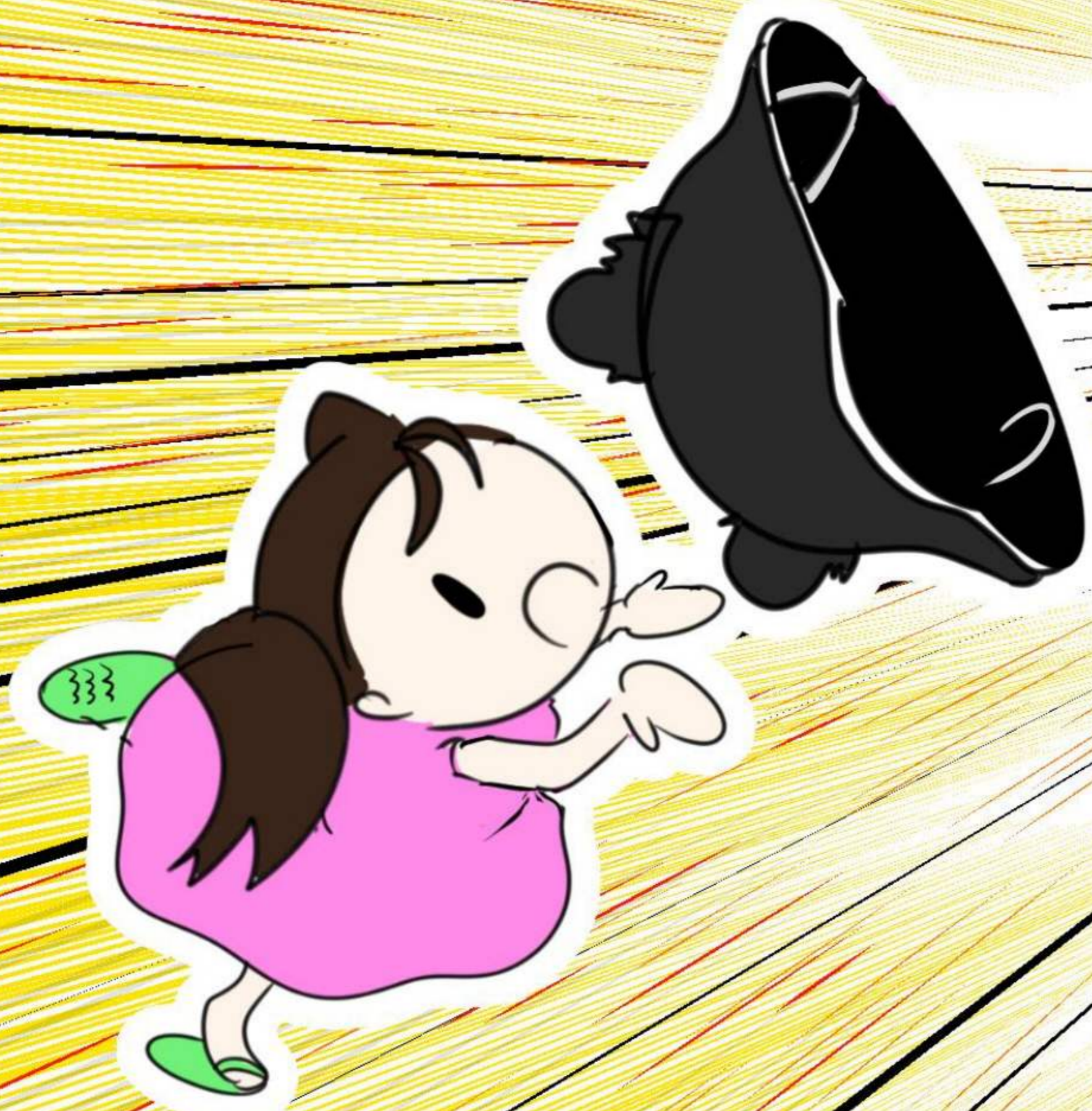
えん  
「バラ園」だ  
そうです。

伊奈吉はそこで、  
みおぼ見覚えのある人影を  
ひとかげ  
み見つけました。

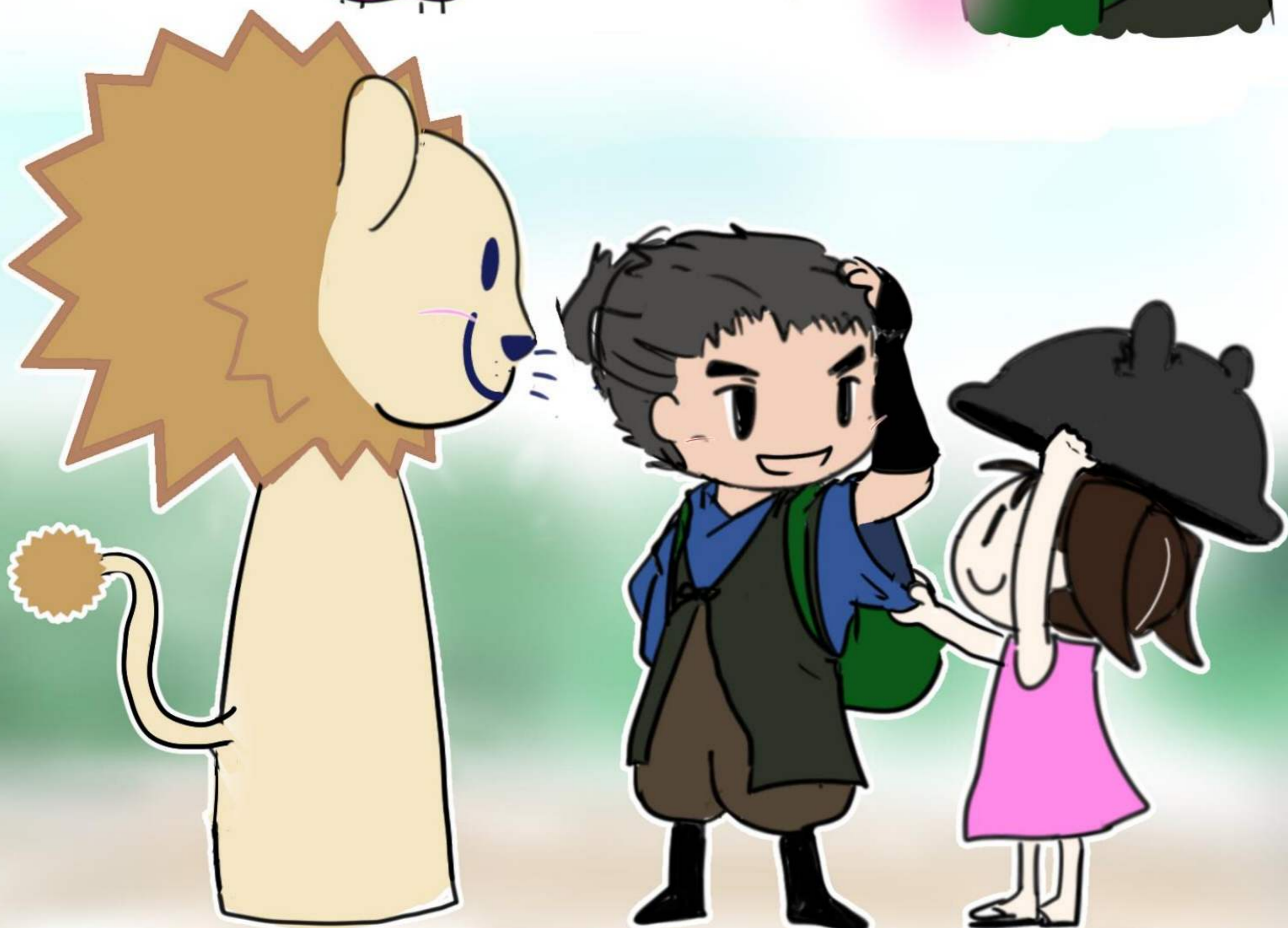
「……おや？  
し獅子がいる……」



むかし  
それは昔、  
アフリカで出会った  
「クマゾウ」でした。



「なんと!  
あ那时的こじしの小獅子なのか!?  
みちが  
見違えたぞ!」



きぐう  
「奇遇だなあ。」

わたし はな み  
私は花を見るために  
ひさびさにふるさとへ  
立ち寄ったところだった。

ただ……」

ことし  
「今年はどうも  
ようす  
様子がおかしい。」

ここは  
てん  
天のはたらき、  
ひと  
人のわざが作った  
うつく  
美しい庭だが、

じゅんちよう そだ  
順調に育っていた  
はな  
バラの花が、  
すべ  
とつぜん全てつぼみに  
もどってしまい、

いらい、まったく  
ひら  
開く様子を  
み  
見せないのだという。

こんなことは初めてで、  
まち ものたち とまど  
町の者達も戸惑っているそうだ。

なに  
いったい何が  
お  
起こっているのか。

わたし  
私は  
てが え  
手掛かりが得られないかと、  
こうえん  
この公園にいるという  
ようせい  
“妖精”を  
さが  
探しているのだが……」

